http://decfamily.p1.bindsite.jp/2017/

We 25R

No.277　17/10/04

# 改めて文理選択

　昨日の佐倉統先生のお話はなかなか面白かった。私は個人的に「学環」という言葉の説明が興味深かった。つまり、よく「学際」という語があって、「文系・理系を横断的に学ぶ」みたいなこと「ウリ」にしている大学も多いわけだが、佐倉先生がおっしゃっていたように、そう簡単に文系と理系の学問・専門家が連携できるかというと、実際にはなかなか難しいところも多いのだろう。ということで、安易な連携ではなく、自分の専門をしっかり持った上で、その垣根を飛び越えながら手を広げていく、つまり「Ｔ字型」に学問をつなげていこうという発想は説得力があるように感じた。

＊

　さて、それとは別にして、文理選択について先生は、「これは嫌だから、そうでない方を選ぼう…というのはよくない」とおっしゃっていたが、その通りだろう。さらに、選択に当たっては、どんな場合でも「後悔」はつきものなのだから、「後悔」が小さい選択はどちらかを考えて、とりあえずは好きなこと・やりたいことを基準に選択すべきだというのも、考え方としては理解しやすいと思う。

　しかし、実際問題として、「後悔しないのはどちらなのだろう」という基準も、いざ選ぼうとするとなかなか難しいのではないだろうか（関係ないが、「後悔先に立たず」という諺があるが、私はそれをもじった「後悔後を絶たず」というのがかなり好きである…笑）。さらに、「これは嫌いだから…」という選択は避けるべきだろうと言われても、目の前の大学受験に向けて、その受験勉強のことを考えると、「物理基礎だけは勉強したくない！」とか「カタカナの人名を覚えるなんて拷問だ！」「数学Ⅲはあり得ない！」と感じてしまう面もあるわけで、「好きなこと・やりたいこと」にそう簡単に飛びつけないというのも実際だろう。さらに、「好きではないが、この科目の方が点数がイイ」、つまり、「自分としては理系に進みたいのだが、成績がイイのは国語と英語だ」とか、逆に、「文系学部志望だが、テストで点数が稼げるのは理科の科目ばかり」といった、より現実的な悩みを持っている人もいるに違いない。

＊

　というわけで、「やりたいこと」と「好きなこと・得意なこと」が一致していて、すでに文理選択の決心がついている人には何でもない問題が、今まさに迷いに迷っている人にとっては、迷いのポイントがいくつもあって、そのどれを重視するのかによって、あっちに揺れたりこっちに揺れたり…といった状況になってしまうのだろう。さて、どうしたらイイものか？

　佐倉先生は、例えば東大のように、大学の最初の２年間で、本当に自分がやりたいこを決められる大学に行くのも手だとおっしゃっていた。また、ご自身の文系から理系へ転身経験、さらに、サル研究から科学史研究への専門分野変更経験を踏まえて、今の決定が全てではないと考えてもイイのではないか（だからこそ「学環］がある！）というアドバイスも参考になるのかも知れない。

　決定の時期はどんどん近づいてくる。そして、決めるのは君たち自身である。後悔しない（少ない？）選択を目指そう。